

## 平成26年度 区政懇談会での発言・回答

### 東中野山小学校区コミュニティ協議会

日時：平成26年6月3日（火）

18：30～20：00

会場：東石山コミュニティハウス



発言：東区ビジョン基本計画の周知について、どのように行うのか。

回答：概要が決まったら東区だより等で広く区民に周知を図りたい。

発言：高齢者問題に伴う**防犯**、**防災対策**等の取り組みについてどのようなものがあるか。

回答：市報、区だより、ホームページ等で啓発したり、また、防犯であれば国民生活センターが発行している高齢者などを対象にした悪質商法の手口などを紹介するメールマガジンの見守り新鮮情報というものを地域包括支援センターが地区の民生委員の会議や地域の茶の間などで配布して注意喚起を図っている。また、要望により、交通安全の教室や防火、防犯の研修会、市政さわやかトーク宅配便等で職員が話をすることもできる。ぜひ、利用いただきたい。

発言：**マツクイムシ**の被害、マツクイムシ病とはどういうものなのか、どういう処置をしなければならぬのかを市民にも分かるように広報・啓発してほしい。

大きな被害を受けた木を伐採し処分するにはかなりのお金がかかる。行政からの支援策を講じてほしい。

また高速道路の松枯れは伐採し処分するよう市から速やかに道路管理者に申し入れをしてほしい。

回答：マツクイムシの処置の仕方について、市報にいがた等も使いながら周知を図っていきたい。

また木を伐採する際の助成については、個人の私有地等は難しいところがあるが、担当課の水産林務課に意見を伝えたところ、どのような支援ができるか検討していきたいと回答をもらっている。

高速道路の松枯れの件は、道路管理者に伝える。

→市では、今のところ、私有地の被害に対する補助は考えていないが、市民に対する

マツクイムシ対策（予防・被害対策）に関する周知として、秋ごろに市報に掲載することを検討している。

速道路の松枯れの件は、6月19日に現地を確認し、東日本高速道路株式会社に内容を伝えた。

発言：本所排水路脇の遊歩道の木には、夏になると、**アメシロ**が大量に発生するため、なるべく早く駆除していただきたい。

回答：アメシロに関しては、連絡をもらい次第すぐに対応するように進めたい。

→今年度、区内において、8月末現在で104件の箇所では通報や現地確認により、駆除・防除を実施している。そのうち本所排水路に係るものは5件となっている。

発言：東石山中学校に向かう**道路で石の部分**があるが、ランニングする方が大勢いて、よく滑っている。けがをしないか心配だ。

回答：現地を確認して対応を考えたい。

→6月19日に現地を確認し、東石山中学校に生徒へ注意喚起してほしいと依頼した。

発言：団地前橋という橋の前の交差点は近くに幼稚園もあり急に道が狭くなっているが、一時停止する車はほとんどない。事故が多く起きているため**信号機を設置**してほしい。

回答：警察に要望はしているが、県警では全県で数十基分の信号機予算しかない状況で、新設の道路を優先しなければならことに加え、各地から設置要望が警察に届いているため、非常に難しいのが現状だ。

また、要望箇所は道路の幅や交通量の関係で設置が難しい場所である。そこで、地域のエリアを30キロに規制する「ゾーン30」というのもあるので、江南警察署と協議していきたい。

発言：自治会の境界に関し、**同じ町名を表示している区域内でありながら自治会が別**になっている。区から支援を受けながら解消していきたい。

回答：自治会の境界の図を見ると、入り組んでいる。

自治会の境界は、市が指定したものではなく、地域でお決めいただいたものであるため、隣接自治会と相談いただきたい。地域の合意があれば変更は可能である。会議会場の用意など協力できるところはさせていただくので、相談いただきたい。

発言：**背割排水路**について、昨年度3本実施し、残り4本を要望しているが、今年度は3本の実施とのことだ。残りの1本はどうなっているのか。

回答：残った1本は現地を再確認し、整備できるようであれば来年度に実施したい。

発言：**石山地区の雨水対策**はどのようになっているか。

また、窪地に雨水が溜まると通れなく、危険な状態となる。私有地でも地下に何らかの用水施設を造るなど、大胆な政策が必要だ。土木部や下水道部と協議し、行ってもらいたい。

回答：この地域は大石・石山・本所排水区であり、下水道部で雨水対策計画を進めている。要所に貯留管、貯留施設を設けることや本所排水機場の増強を行うという内容となっている。本所排水機場の増強は関係団体との調整で少し時間がかかっている。その調整が整い次第、都市計画決定手続きを進める予定としている。

次に窪地について、応急対策としては緊急用ポンプの設置が考えられるが、排水施設や貯留施設などの整備については関係課で検討してもらう必要がある。意見は関係課に伝える。

発言：**津波避難ビル**は、東中野山小学校区にあるのか。

回答：昨年12月に県が出した津波避難想定では大きな地震が来ても浸水はしないだろうという地域であり、津波避難ビルの設置はない地域である。

発言：**高齢者を狙った詐欺**の件数が非常に増えている。どのように地域内で知らせればよいか迷っている。

回答：地域の防犯協会、防犯組合で防犯ボランティアネットワークというものに加盟いただくと、必要な情報をもう少し簡潔にしてお渡しできる。それを回覧してもらおうという方法もある。

発言：自治会活動に協力する人が非常に少なくなっている。もし**自治会がなくなるとどうなるのか**。

回答：自治会がなくなると、市からの回覧文書などが届かないことになり、住民にとって不便となってしまう。

発言：**自治会の役員**になることを市の職員に強制はできないが、地域の中に入って協力する

よう指導してほしい。

回答：民間同様、現役の職員は、時間的にも地域活動に参加できないことが多いが、可能な限り地域の行事に参加するよう声をかけていきたい。

発言：この地域の避難場所は東中野山小学校だが、**高齢者**が多く、災害時に小学校まで**避難**できないという方がかなりいる。

回答：地域ごとに自主防災組織を結成することや、災害時にはどうやって避難するかをあらかじめお考えいただくようお願いしている。

75歳以上の高齢者の方で単身の方、要介護3以上ないしは身体障がい者1、2級の方、療育手帳Aの方は、本人の同意があれば地域の自主防災組織や協力いただける自治会に名簿を渡し、緊急時には援護するようお願いしている。

また、洪水の際に短時間で逃げ切れない場合は自宅の2階や3階、近くにマンションなどがあればそちらへ避難するようお願いしている。もし、洪水が長時間になるようであれば、必要なところへの避難を呼びかけていく。

発言：市のホームページによると、東中野山小学校は水害のときは2階以上に避難することとなっている。**収容人数**は2,200人となっているが、地震のときは1,600人となっている。**違い**は何か。

回答：洪水時は1人当たり1平方メートルとカウントし、地震の際は避難である程度の時間を過ごすことから1人当たり2平方メートルという計算で収容人数を出している。

発言：山の下**地域包括ケアネット**について、区として各地に拡大していく予定か。

何か研修を行うことになっても一人住まいの高齢者の方は交通手段がなく、なかなか参加できない。そういった方々のために交通手段を確保するなどの対策を考えてほしい。

回答：在宅医療の山の下地域包括ケアネットについては、山の下地区で発展してきたものを、全市の医師や事業所に様々な情報として提供し、広がっていけばよいと考えている。山の下地域包括ケアネットのほか、各区で様々な成功例があり、順次情報提供していく。

高齢者の方々については、地域の皆様のお力を借りながら何ができるかを考えていきたい。